

★治療について

レジメン名	1コースの期間	診療科	適応疾患	コース数	コース開始日
Per+Her+ホルモン剤21	21日間	外科	乳がん	コース目	

★治療スケジュール

以下の治療スケジュールで繰り返し行います。症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

投与順	投与経路	薬品名	投与量 投与時間	実際の 投与量	実施日			
					1	2~7	8	9~21
1	点滴 静注	パージェタ 生理食塩液250mL	初回 840mg/Body 60分 2回目以降 420mg/Body 30分	mg	●			
	点滴 静注	生理食塩液100mL	60分 2回目以降 30分		●			
2	点滴 静注	トラスツズマブ 生理食塩液250mL	初回 8mg/kg 90分以上 2回目以降 6mg/kg 30分	mg	●			

※ホルモン剤は医師の処方通りに服用してください。

★注意事項など

この用紙は、かかりつけ医や保険調剤薬局の薬剤師へご提示ください。

★保険調剤薬局薬剤師の方へ

服薬状況や副作用等報告事項がありましたら、「患者情報連絡書」にて報告をお願いします。

「患者情報連絡書」: 碧南市民病院HP→部門紹介→薬剤部→薬薬連携に掲載

FAX(地域連携室): 0566-46-3774

【緊急時連絡先】碧南市民病院 薬剤部 TEL: 0566-48-5050(代表)

Per+Her+ホルモン剤 21の副作用について

★起こりやすい副作用と発現時期の目安

これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。また、発現時期には個人差があります。

副作用	発現時期(日)																						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22日目以降	
心障害																							
インフュージョン・リアクション																							

★起こりやすい副作用と対策

〈血液検査からわかる副作用〉

● 心障害

心障害の主な初期症状として、階段や坂道をのぼるだけでも息苦しさをを感じる、疲労感が続く、咳が多くでる、手足にむくみが生じるなどの症状があります。

⇒上記のような症状が気になる場合、心臓の病気の既往がある場合は、お知らせ下さい。また定期的に心臓の検査を行います。

〈ご自分でわかる副作用〉

● インフュージョン・リアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出ることがあります。『寒気』『気分が悪い』『顔や体がかゆい』『息苦しい』『頭痛』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

⇒解熱剤を服用することがあります。2回目以降はほとんどの方で症状が軽くなるので、その後も継続して投与が可能です。

★すぐに連絡をいただきたい副作用

★「動くと息が苦しい」、「疲れやすい」、「足がむくむ」、「急に体重が増えた」(心障害)

★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。碧南市民病院 (代表)0566-48-5050